



多摩辺

学校だより

昭島市立多摩辺中学校

校長 相部公太郎

令和5年 1月18日

災いから免れる年に



今年うさぎ年です。うさぎはどんな困難な坂でもびよんびよん駆け上がり、「兎」が「免」という字に似ていることから、災いから免れることができると言われています。今年一年、戦争や争いが終わり、コロナが収束することを願わずにいられません。

しかし、現在日本では、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が油断できない状況です。年末年始（1日までの1週間）に救急車到着後も搬送先が決まらない「救急搬送困難事案」は、全国で7158件ありました。年末年始で休診する医療機関があるとはいえ、2週連続過去最多でした。また、新型コロナウイルス感染症第8波の流行が続く中、死者数の増加傾向が顕著になっています。このような状況からも想像できるように医療従事者の疲弊が高まっていますので、皆さん自身が健康を保持し感染症を予防することが大切です。適切な睡眠と食事、適度な運動、適切な感染症対策を、気持ちを緩めることなく実践しましょう。そして、自分や家族が体調不良の場合は登校を控えてください。重症化リスクの高い家族の方などに感染が広がることは絶対に避けなければなりませんし、医療を逼迫させるわけにもいきません。

そして、医療現場の最前線で働かれている医療従事者の方だけでなく、普段から自分を支えてくれている家族・学校の仲間・先生方や私たちの生活を支えて下さっている方などへの感謝の気持ちを忘れることなく、感染症に負けずに生活していきましょう。3学期は、それぞれの学年のまとめの時期です。とりわけ、3年生にとっては、進路決定をする大切な日々となります。何事にも悔いの残らないよう全力を出し切ることを願っています。また、1・2年生も進級を前にして充実した日々を送ることを期待しています。【始業式講話抜粋】